

台湾を訪問、農業機械展示会で手応え 韓国でも商談、海外販路開拓に本腰

農業機械メーカーの株エフ・イー（旭川市工業団地3条2丁目、佐々木通彦社長）が、台湾で開かれた北海道製農業機械のプロモーションに参加した。同時に韓国での商談も展開中。海外市場で販路を拡大しようとしている。

台湾でのこの販売活動は、北見市工業技術センターが経済産業省の地域企業立地促進等事業費補助金（地域中小企業海外販路開拓支援事業）の受け皿となり、北海道農業機械工業会（札幌市）とともに実施したもの。エフ・イーを含め8社の農業機械メーカーが参加した。佐々木社長を含む一行18人は2月14日から20日

にかけて台湾を訪問した。2月18日には台湾中部の雲林県東勢果菜生産合作社（果物と野菜の生産協会）で、農業者らを集めて展示会を実施した。

エフ・イーは同社の大根洗浄機のうち最も小型の3Sの実機を持ち込んで、現地産の大根や長芋などを洗って見せた。実演を見た複数の農業関係者からは「購入したい。

このまま実機を置いて行ってほしい」との要望も寄せられたが、手続きの関係で機械は持ち帰ってきた。

台湾ではまだ大根の洗浄機が普及しておらず、土がついた状態で販売するか、1本ずつ手洗いしているかのどちらか。東勢果菜合作社では現地製のニンジんの洗浄機を使用していたが、構造や仕

様する水の温度などに関して大きな改良の余地があり、佐々木社長は今後の商談に向けて自信を深めたという。

洗浄機のほか、野菜の選別機についても、現在現地で使用しているものには、同時に複数の野菜の重さを計測してしまう欠陥がある。東勢果菜生産合作社ではエフ・イーに技術的なアドバイスを求めている。

今後の本格的な輸出に備えて、エフ・イーでは台湾で「Fe」の商標も登録してきた。

佐々木社長はこのほか、大根、長芋、ニンジんの洗浄機の売り込みのため韓国の済州島も最近訪れた。現在は円高ウォン安のため日本製品の価格競争力が低下しているが、顧客はとくに長芋の洗浄機を必要としており、逆風のなかでも輸出が実現する可能性がある。



台湾中部で開かれた北海道製農業機械の展示会



実際に野菜を洗ってみせた

| | |
|---|---|
| <h2>富山耳鼻咽喉科</h2> <p>理事長 富山 知隆</p> <p>旭川市本町2丁目 (国道40号線・本町2丁目バス停前)</p> <p>電話予約 承ります。 ☎(0166)51-0515</p> <p>P 当院の裏に専用駐車場がございます。</p> | <h2>かむい耳鼻咽喉科 クリニック</h2> <p>院長 鈴木 茂</p> <p>旭川市神居2条10丁目 (十字街・神居農協となり) 電話予約 承ります。 ☎(0166)61-3551</p> |
| <p>受付時間</p> <p>月・火・水・金 午前9:00～正 午 午後2:00～午後6:00</p> <p>木・土 午前9:00～午後1:00</p> | <p>受付時間</p> <p>月・火・木・金 午前9:00～正 午 午後2:00～午後6:00</p> <p>水・土 午前9:00～午後1:00</p> |